



伊豆市立中伊豆中学校 学校便り

中 中 通 信

校訓 努力は必ず報われる

9 月 号

文責 樋口 正 則

2学期スタート

校 長 高 橋 直 樹

16日間の夏休みが終わり、生徒が学校に戻ってきました。コロナ感染症の影響を受けて4月早々から臨時休業となったことにより、その分の授業を確保するため今年の夏休みはとても短いものになってしまいました。この2学期も不安を抱えてのスタートとなりますが、少しでも充実した学期となるよう全教職員で、子どもたちの成長を見届けていきたいと思います。2学期は、12月25日までの86日間です。

今学期も、変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願い致します。



学校評価へのご協力 ありがとうございます

本校では、「授業がわかる生徒」「学校が楽しいという生徒」「夢や自分なりの目標を持っている生徒」の育成を目標として掲げ、それぞれ90%以上となるように行事や日頃の学習指導、生活指導に取り組んでいます。保護者の皆様にご協力いただき1学期末に実施しました「学校評価」を同時期に生徒にも行いました。その結果が出ましたのでお知らせします。なお、表の数値は各回答を割合(%)で示しておりますのでご承知おきください。

まず、学校としての目標である「授業がわかる」と「学校が楽しい」のどちらの問いに対しても生徒の肯定的な回答(AとBの合計)は90%に近いものの目標には届きませんでした。保護者の皆様からも学力の定着に対する課題を提示していただいております。今学期も学習指導に重点を置いて研修に取り組み、さらなる授業力の向上に努めていきたいと考えております。

その他にも保護者の皆様からの肯定的な回答が高かった問いは、「家庭や地域であいさつをする」(92%)、「先生が生徒のよさを伸ばそうとしている」(92%)、「信頼できる先生がいる」(85%)でした。一方、評価が低かったものは、「家庭学習への取り組み」(59%)、「規則正しい生活」(70%)となっています。これらの評価からは我々教職員も勇気付けられることも多く、2学期も全職員で子どもたちを見守り、寄り添っていききたいと改めて思います。同時に、課題となる部分については学校と家庭が情報共有しながら改善できるように尽力していきます。

また、1学期には長い臨時休業があり、学習への不安や、行事および部活動がどうなるんだろうと心配が尽きませんでした。特に3年生にとっては、最後の中体連、中学校生活でたった一度の修学旅行が中止になるなど残念なことの連続でした。先日の始業式でも話しましたが、2学期に行われる「緑流祭」は新しいスタイルでの開催となります。生徒・職員の力を結集し、成功に向けて前進していきたいと思います。

質問項目		A	B	C	D
授業が わかる	生 徒	41	43	13	3
	保護者	15	53	24	8
	教 員				
学校が 楽しい	生 徒	60	28	5	7
	保護者	46	41	11	2
	教 員	11	67	22	0
夢・ 目標が ある	生 徒	58	32	6	4
	保護者				
	教 員				

A: 大変当てはまる B: 少し当てはまる (単位: %)

C: どちらかというと当てはまらない

D: 全然当てはまらない

※ 表の斜線部分は、調査未実施によるもの



中中陸上部復活の狼煙があがりました

8月9日(日) 東部陸上競技大会が愛鷹広域公園多目的競技場にて開催され、本年度再設された陸上部の代表として、菊地はるかさんが出場しました。

①大会を振り返って ②2年3ヶ月を振り返って

陸上部 菊地はるかさん

800m予選 6組1位

①陸上部として、再び部長として活動することができてとても嬉しかったです。このように活動できたのは、入部してくれた1年生や外部コーチと顧問の先生のおかげだと思います。本当にありがとうございました。

②1年生がとても元気で、今まで1人で練習を行っていたので、とても楽しく感じました。進んで道具の準備や部室の鍵開けなどをしてくれてとても助かりました。これからも陸上の練習を頑張ってください。



3年生が奉仕作業を行いました

3年生に限らず、例年夏休みには多くの生徒がボランティア活動を行っています。しかし今年は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために、これまでボランティアを受け入れてくださっていた事業所等が、受け入れられないというケースが多く出てきました。学校でも、例年夏休み中をお願いをしているPTA奉仕作業が、同様の理由で中止となってしまう、伸び放題になった校舎内外の雑草に苦慮していました。

このような状況の中、3年生による奉仕作業を8月19日に行いました。残暑が厳しい中、友達と協力し合いながら黙々と取り組む姿が見られ、予定していた時間より早く終わることができました。3年生のおかげで、気持ちよく2学期を迎えることができました。



新しい生活様式と熱中症予防の両立を!!

9月に入ってもまだまだ暑い日が続いていますが、子供たちは新しい生活様式に沿って、マスクを着用した生活をしています。一方で、いつまでも続く暑さにより、熱中症の心配があります。

学校では、時と場面に応じた適切なマスク着用を呼び掛けています。具体的に次のような場合にはマスクを外すことも必要と考えます。

- ①1人で登下校をする場合(バスの中は着用)
- ②外での活動で、十分に間隔が取れる場合
- ③フェイスシールドを使った授業の時 　　　　　　　　です。



熱中症予防には水分補給が欠かせませんが、マスクを着用していると喉の渇きを感じにくくなり、こまめな水分補給を妨げる原因となってしまいます。「喉が渇く前に飲む」を意識した生活をしていきます。